

IV 介護の状況

1 要介護者等のいる世帯の状況

介護保険法の要支援又は要介護と認定された者のうち、在宅の者（以下「要介護者等」という。）のいる世帯を世帯構造別にみると、「核家族世帯」が35.4%で最も多く、次いで「単独世帯」が27.4%、「三世帯世帯」が18.4%となっている。

年次推移をみると、「単独世帯」の割合が上昇し、「三世帯世帯」の割合が低下している。（表19）

表19 世帯構造別にみた要介護者等のいる世帯の構成割合の年次推移

（単位：％）

年次	総数	単独世帯	核家族世帯	(再掲) 夫婦のみの 世帯	三世帯世帯	その他の 世帯	(再掲) 高齢者世帯
16	100.0	20.2	30.4	19.5	29.4	20.0	40.4
19	100.0	24.0	32.7	20.2	23.2	20.1	45.7
22	100.0	26.1	31.4	19.3	22.5	20.1	47.0
25	100.0	27.4	35.4	21.5	18.4	18.7	50.9

要介護度の状況を世帯構造別にみると、「単独世帯」では要介護度の低い者のいる世帯の割合が高く、「核家族世帯」「三世帯世帯」では要介護度の高い者のいる世帯の割合が高くなっている（表20）。

表20 要介護者等のいる世帯の世帯構造別にみた要介護度の構成割合

（単位：％）

平成25年

要介護度	総数	単独世帯	核家族世帯	(再掲) 夫婦のみの 世帯	三世帯世帯	その他の 世帯	(再掲) 高齢者世帯
要支援者のいる世帯	27.7	41.6	23.5	24.1	21.1	21.8	33.2
要支援1	12.8	20.8	9.9	9.6	9.9	9.4	15.5
要支援2	14.9	20.8	13.7	14.5	11.2	12.4	17.7
要介護者のいる世帯	70.0	55.4	74.6	73.9	76.7	76.1	64.7
要介護1	18.8	18.3	17.4	17.9	22.2	18.6	18.6
要介護2	20.4	16.2	21.2	22.8	18.9	26.4	19.8
要介護3	13.3	10.1	14.7	13.7	14.7	13.7	12.3
要介護4	9.8	6.6	11.0	10.6	11.9	10.2	8.1
要介護5	7.8	4.2	10.3	8.9	9.0	7.2	5.9

注：1）「総数」には、要介護度不詳を含む。

2）世帯に複数の要介護者等がいる場合は、要介護の程度が高い者のいる世帯に計上した。

2 要介護者等の状況

要介護者等の年齢を年次推移で見ると、年齢が高い階級が占める割合が増加している。平成25年の要介護者等の年齢を性別にみると、男は「80～84歳」の25.4%、女は「85～89歳」の26.8%が最も多くなっている。(図38、39)

図38 要介護者等の年齢（年次推移）

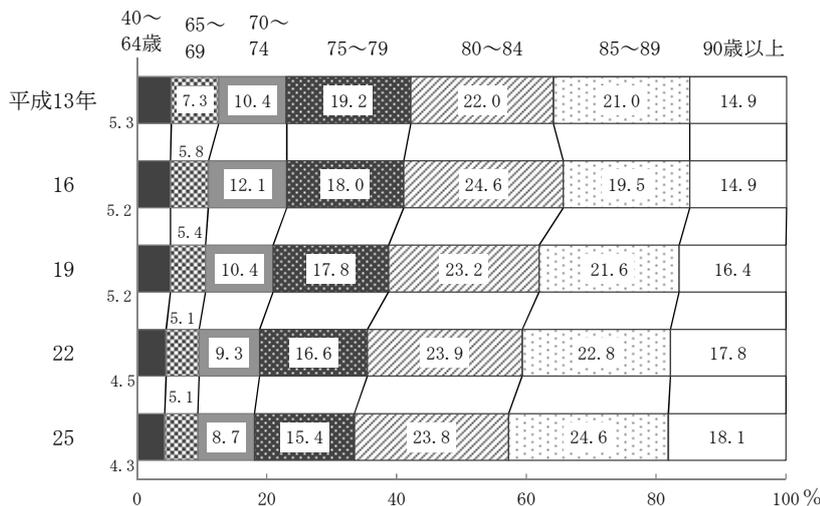
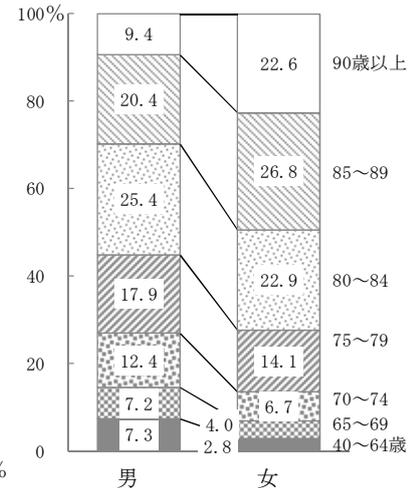


図39 性別にみた要介護者等の年齢（平成25年）



介護が必要となった主な原因を要介護度別にみると、要支援者では「関節疾患」が20.7%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が15.4%となっている。要介護者では「脳血管疾患（脳卒中）」が21.7%、「認知症」が21.4%と多くなっている。(表21)

表21 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因（上位3位）

(単位:%)

平成25年

要介護度	第1位		第2位		第3位	
総数	脳血管疾患(脳卒中)	18.5	認知症	15.8	高齢による衰弱	13.4
要支援者	関節疾患	20.7	高齢による衰弱	15.4	骨折・転倒	14.6
要支援1	関節疾患	23.5	高齢による衰弱	17.3	骨折・転倒	11.3
要支援2	関節疾患	18.2	骨折・転倒	17.6	脳血管疾患(脳卒中)	14.1
要介護者	脳血管疾患(脳卒中)	21.7	認知症	21.4	高齢による衰弱	12.6
要介護1	認知症	22.6	高齢による衰弱	16.1	脳血管疾患(脳卒中)	13.9
要介護2	認知症	19.2	脳血管疾患(脳卒中)	18.9	高齢による衰弱	13.8
要介護3	認知症	24.8	脳血管疾患(脳卒中)	23.5	高齢による衰弱	10.2
要介護4	脳血管疾患(脳卒中)	30.9	認知症	17.3	骨折・転倒	14.0
要介護5	脳血管疾患(脳卒中)	34.5	認知症	23.7	高齢による衰弱	8.7

3 主な介護者の状況

主な介護者をみると、要介護者等と「同居」が61.6%で最も多く、次いで「事業者」が14.8%となっている。

「同居」の主な介護者の要介護者等との続柄をみると、「配偶者」が26.2%で最も多く、次いで「子」が21.8%、「子の配偶者」が11.2%となっている。（図40）

また、「同居」の主な介護者を性別にみると、男31.3%、女68.7%で女が多くなっている。年齢階級別にみると、男女ともに「60～69歳」が27.7%、32.5%と多くなっている。（図41）

図40 要介護者等との続柄別にみた主な介護者の構成割合
平成25年

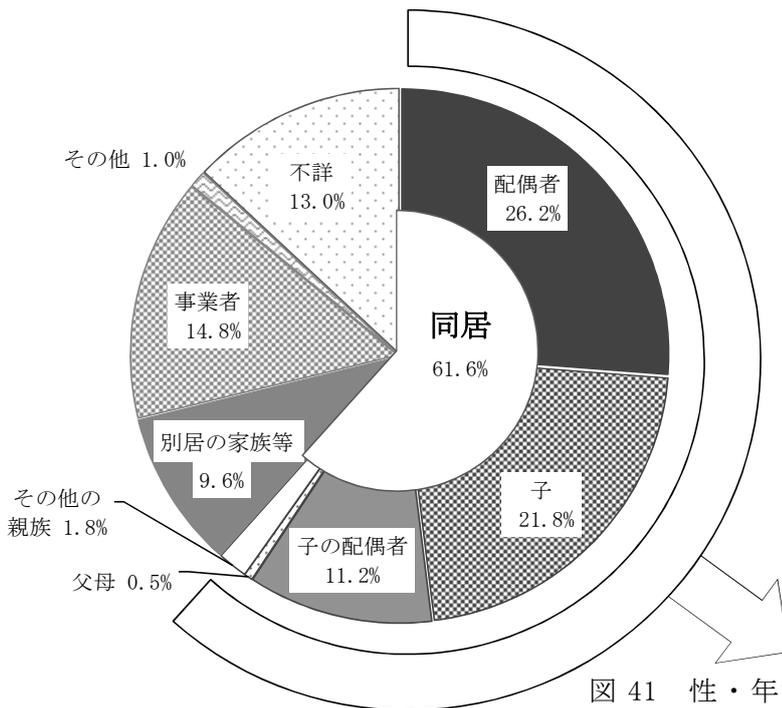
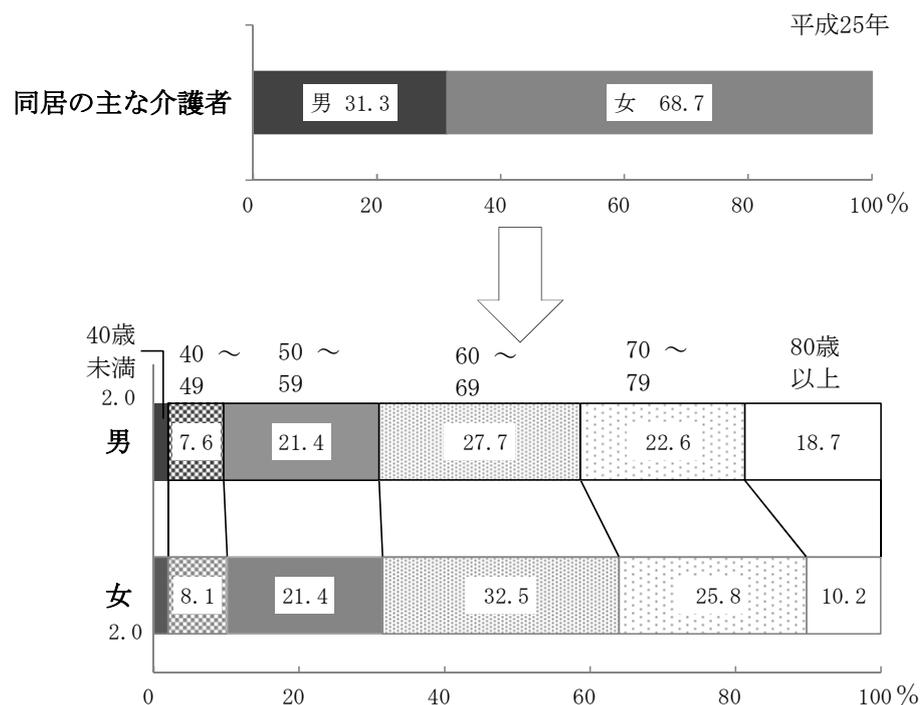


図41 性・年齢階級別にみた同居の主な介護者の構成割合



注：「総数」には主な介護者の年齢不詳を含む。

同居の主な介護者と要介護者等の組合せを年齢階級別にみると、「70～79 歳」の要介護者等では、「70～79 歳」の者が介護している割合が 50.6%、「80～89 歳」の要介護者等では、「50～59 歳」の者が介護している割合が 29.9%で最も多くなっている（表 22）。

年次推移をみると、60 歳以上同士、65 歳以上同士、75 歳以上同士の組合せにおいて、いずれも上昇傾向となっている（図 42）。

表 22 性・年齢階級別にみた同居の主な介護者と要介護者等の構成割合

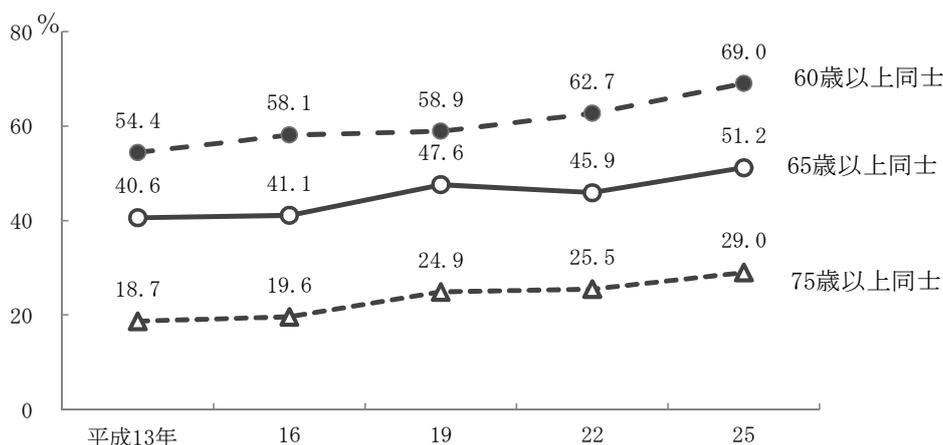
（単位：％）

平成25年

同居の主な介護者の 性・年齢階級	要介護者等								
	総数	40～64歳	65～69	70～79	80～89	90歳以上	(再掲) 60歳以上	(再掲) 65歳以上	(再掲) 75歳以上
総数	[100.0]	[4.1]	[5.3]	[25.1]	[46.6]	[19.0]	[98.2]	[95.9]	[80.8]
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
40歳未満	2.0	7.8	4.1	2.3	1.5	1.2	1.9	1.8	1.3
40～49歳	8.0	9.2	11.9	14.4	6.2	2.3	7.8	7.9	6.8
50～59	21.4	28.7	5.7	10.0	29.9	18.1	21.1	21.0	24.3
60～69	31.0	34.2	52.6	13.7	26.1	59.2	31.2	30.8	29.8
70～79	24.8	9.6	24.4	50.6	16.4	14.6	24.9	25.4	22.7
80歳以上	12.9	10.5	1.3	9.0	19.8	4.6	13.0	13.0	14.9
(再掲)60歳以上	68.6	54.3	78.2	73.3	62.3	78.4	69.0	69.2	67.5
(再掲)65歳以上	50.5	33.4	52.4	71.9	41.9	46.3	50.8	51.2	48.1
(再掲)75歳以上	26.5	14.4	6.2	32.6	33.5	9.1	26.6	27.0	29.0
男	31.3	38.9	41.6	34.8	30.1	24.9	31.2	31.0	29.5
40歳未満	0.6	3.8	1.5	0.9	0.2	0.3	0.6	0.5	0.3
40～49歳	2.4	1.6	6.1	4.5	1.8	0.3	2.4	2.4	1.8
50～59	6.7	7.3	0.3	4.1	10.0	3.6	6.6	6.7	7.8
60～69	8.7	24.6	12.2	0.9	8.5	14.9	8.5	8.0	8.5
70～79	7.1	1.1	20.2	17.4	1.5	4.7	7.2	7.3	4.2
80歳以上	5.8	0.6	1.3	7.0	8.2	1.0	5.9	6.1	6.9
(再掲)60歳以上	21.6	26.3	33.7	25.3	18.2	20.7	21.6	21.4	19.5
(再掲)65歳以上	16.2	12.7	31.2	24.9	11.5	12.9	16.3	16.3	13.8
(再掲)75歳以上	10.0	0.6	6.2	18.8	9.4	2.7	10.1	10.4	9.7
女	68.7	61.1	58.4	65.2	69.9	75.1	68.8	69.0	70.5
40歳未満	1.4	4.0	2.6	1.3	1.3	0.9	1.3	1.3	1.0
40～49歳	5.6	7.7	5.9	9.9	4.5	2.0	5.4	5.5	5.0
50～59	14.7	21.4	5.4	5.9	19.9	14.5	14.6	14.4	16.5
60～69	22.3	9.6	40.4	12.8	17.6	44.3	22.7	22.9	21.3
70～79	17.7	8.5	4.2	33.2	14.9	9.9	17.7	18.1	18.5
80歳以上	7.0	10.0	-	1.9	11.7	3.6	7.0	6.9	8.1
(再掲)60歳以上	47.0	28.0	44.6	47.9	44.1	57.7	47.4	47.8	48.0
(再掲)65歳以上	34.3	20.7	21.3	47.0	30.5	33.3	34.5	34.9	34.3
(再掲)75歳以上	16.5	13.9	-	13.9	24.1	6.3	16.5	16.6	19.3

注：「総数」には、主な介護者の年齢不詳を含む。

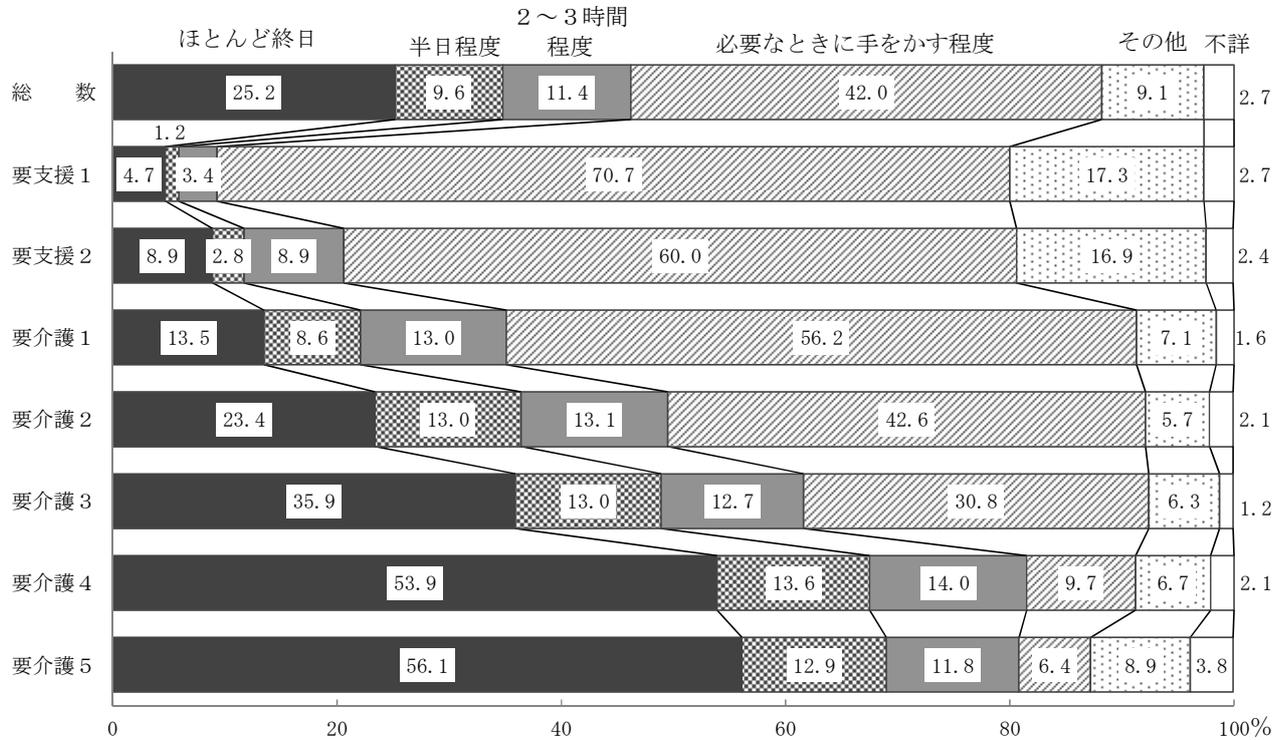
図 42 年齢別にみた同居の主な介護者と要介護者等の割合の年次推移



同居の主な介護者の介護時間を要介護度別にみると、「要支援1」から「要介護2」までは「必要なときに手をかす程度」が多くなっているが、「要介護3」以上では「ほとんど終日」が最も多くなっている（図43）。

図43 要介護度別にみた同居の主な介護者の介護時間の構成割合

平成25年

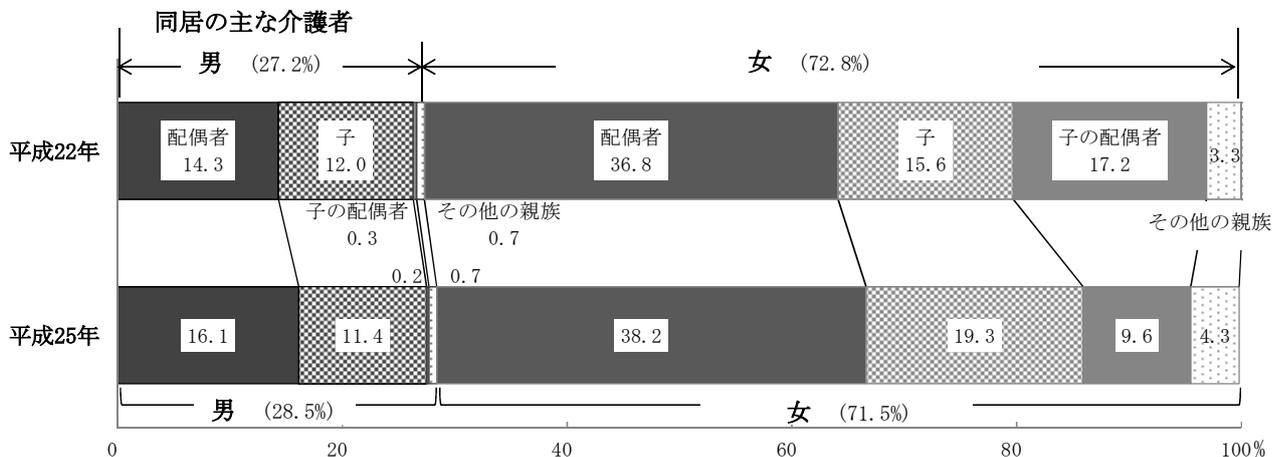


注：「総数」には要介護度不詳を含む。

同居の主な介護者のうち、介護時間が「ほとんど終日」の者を平成22年と比較すると「男」は27.2%から28.5%、「女」は72.8%から71.5%で、ほぼ横ばいとなっている。

続柄別にみると、男女とも「配偶者」の割合が増加し、「女」では「子」が増加するとともに「子の配偶者」は減少している。（図44）

図44 要介護者等との続柄別にみた介護時間が「ほとんど終日」の同居の主な介護者の構成割合



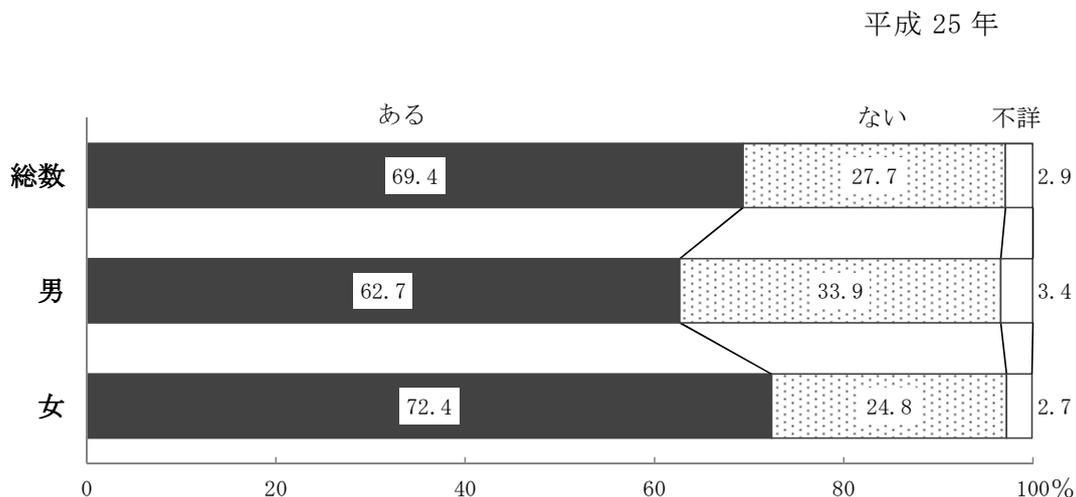
注：「その他の親族」には「父母」を含む。

4 同居の主な介護者の悩みやストレスの状況

同居の主な介護者について、日常生活での悩みやストレスの有無をみると、「ある」69.4%、「ない」27.7%となっている。

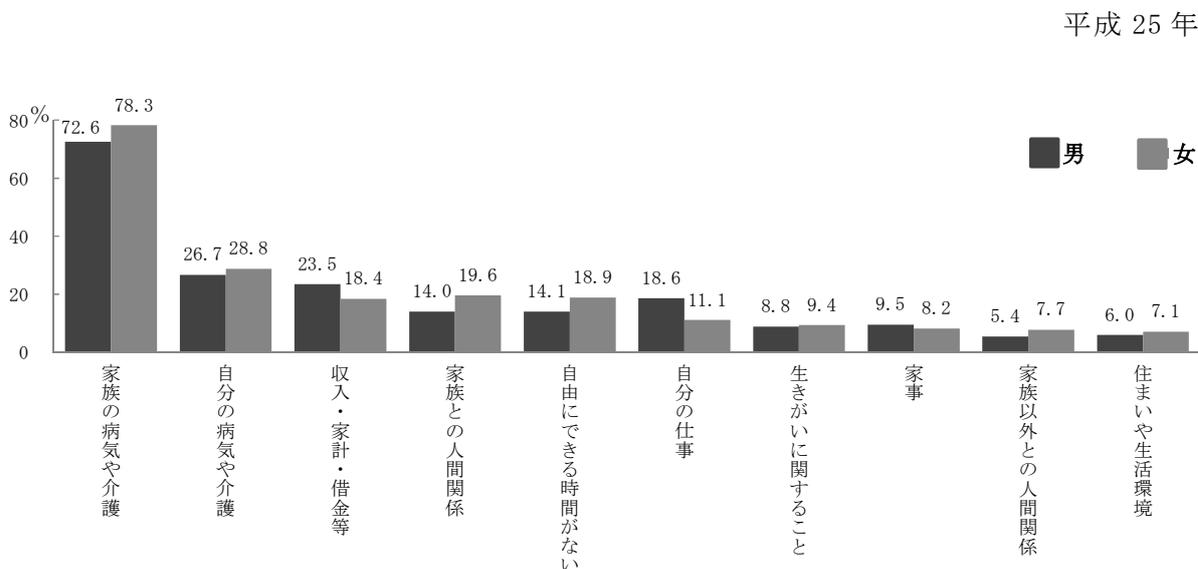
性別にみると、「ある」は男 62.7%、女 72.4%で女が高くなっている。(図 45)

図 45 性別にみた同居の主な介護者の悩みやストレスの有無の構成割合



日常生活での悩みやストレスが「ある」と回答した者の悩みやストレスの原因をみると、男女ともに「家族の病気や介護」が 72.6%、78.3%と高く、次いで「自分の病気や介護」が 26.7%、28.8%となっている (図 46)。

図 46 性別にみた同居の主な介護者の悩みやストレスの原因の割合 (複数回答)



5 介護サービスの利用状況

5月中の介護サービスの利用状況をみると、要介護者等のうち介護サービスを1種類でも利用した者は78.9%で、世帯構造別にみると、「単独世帯」が84.2%で最も高く、次いで「三世代世帯」が80.8%となっている。

介護サービスの種類別にみると、「単独世帯」では、「訪問系のサービス」が70.5%で最も多く、「配食サービス」の割合も11.6%と他の世帯構造に比べて高くなっている。(表23)

表23 世帯構造別にみた介護サービスの利用状況の割合（複数回答）

(単位：%)

平成25年

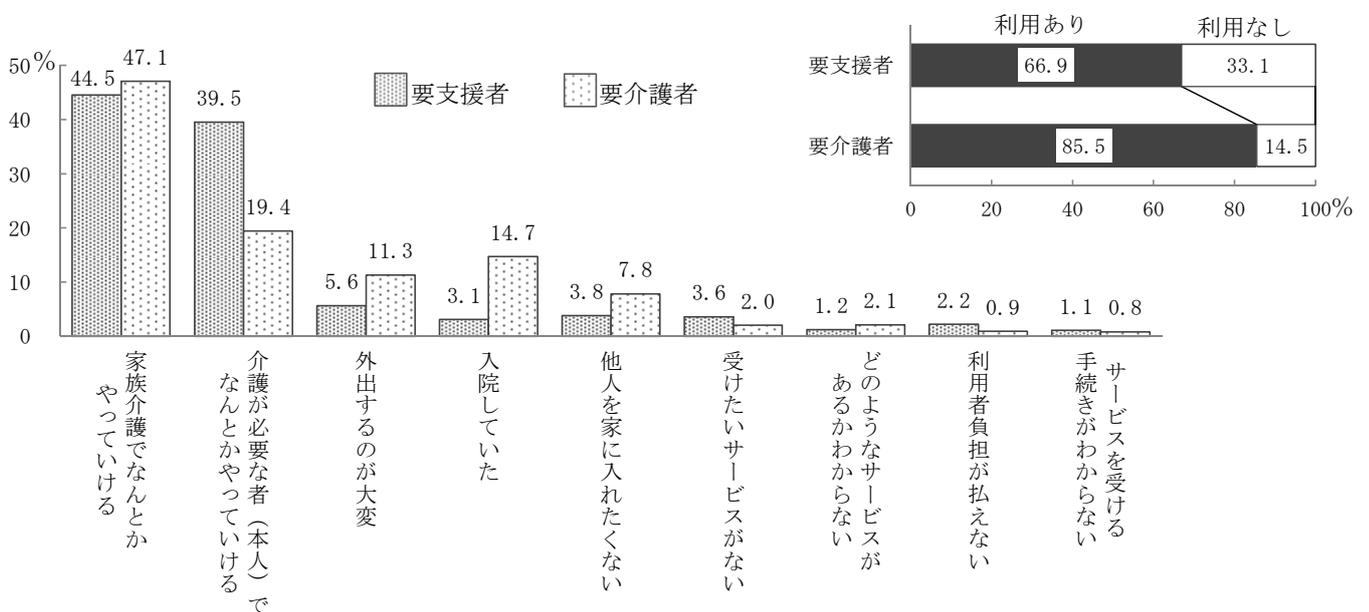
利用の有無 介護サービスの種類	総数	単独世帯	核家族 世帯	(再掲) 夫婦のみ の世帯	三世代 世帯	その他の 世帯	(再掲) 高齢者 世帯
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
利用した	78.9	84.2	74.6	74.5	80.8	78.5	79.6
訪問系サービス	54.0	70.5	48.4	49.2	47.7	48.5	59.0
通所系サービス	48.1	33.2	47.3	45.5	61.9	57.0	40.6
短期入所サービス	9.1	3.5	6.0	5.7	14.9	17.3	6.0
居住系サービス	3.9	9.9	1.1	0.9	2.2	2.7	5.8
小規模多機能型サービス等	2.7	2.0	2.7	3.0	3.2	3.1	2.3
配食サービス	6.7	11.6	6.7	7.5	2.7	3.8	9.6
外出支援サービス	3.0	4.3	3.0	3.2	1.9	2.2	3.5
寝具類等洗濯乾燥消毒サービス	1.2	1.6	1.4	1.3	0.6	1.1	1.5
利用しなかった	21.1	15.8	25.4	25.5	19.2	21.5	20.4

5月中の介護サービスの利用の有無を要介護度別にみると、「利用あり」は「要支援者」が66.9%、「要介護者」が85.5%となっている。

このうち、訪問系・通所系・短期入所・居住系サービス・小規模多機能型サービス等をいずれも利用していない者の利用しなかった理由をみると、「家族介護でなんとかやってくれる」が最も高く、要支援者が44.5%、要介護者が47.1%となっている。(図47)

図47 介護サービスの利用の有無と訪問系・通所系・短期入所・居住系サービス、小規模多機能型サービス等を利用していない者の利用しなかった理由の割合（複数回答）

平成25年



6 介護者の組合せの状況

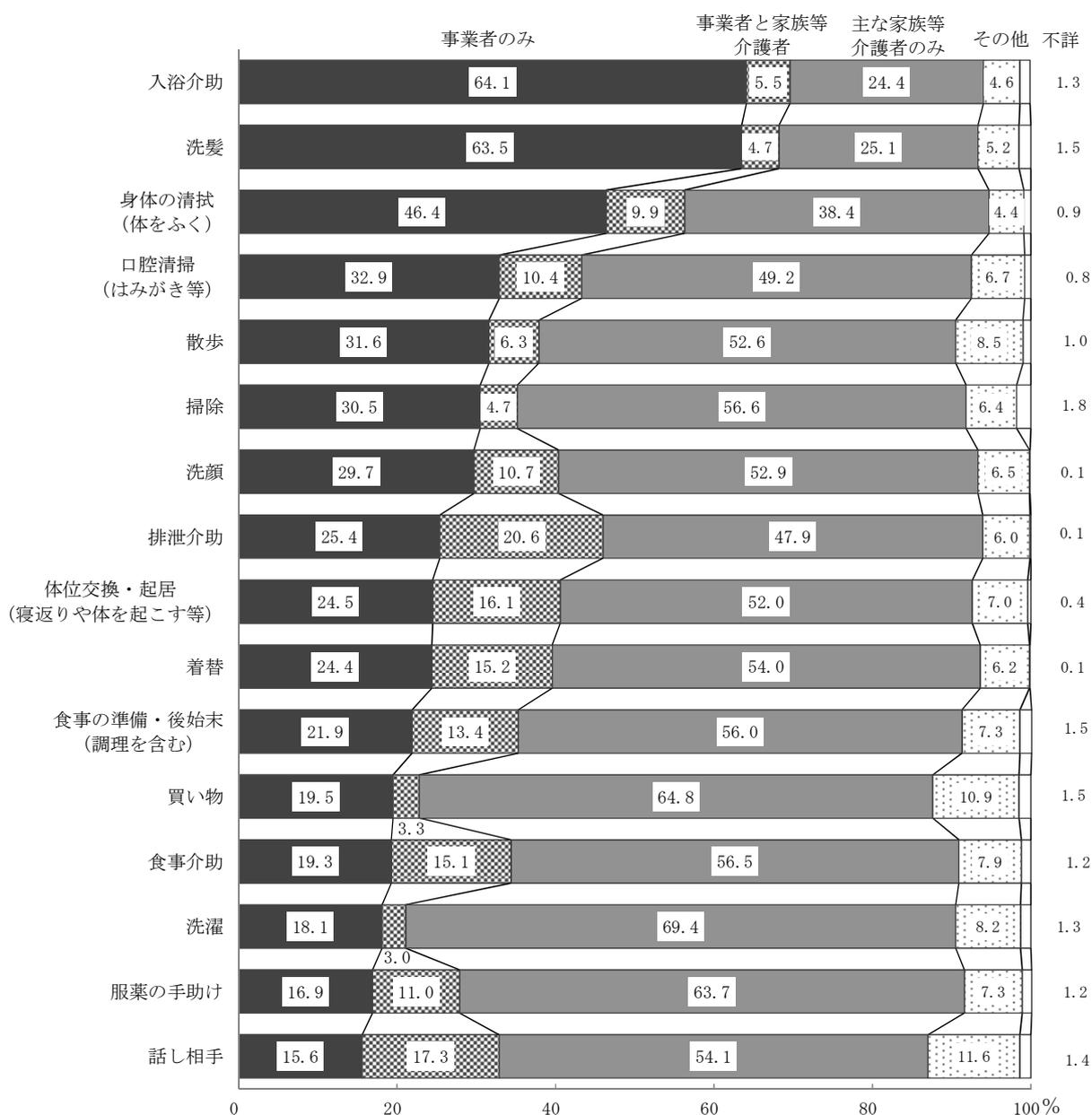
要介護者等が家族・親族等や訪問介護事業者から受けている16項目の介護内容について、介護者の組合せの状況をみると、「事業者のみ」の割合が多いのは「入浴介助」の64.1%、「洗髪」の63.5%となっている。

「主な家族等介護者のみ」による介護の割合は、「入浴介助」「洗髪」「身体の清拭」以外のすべての項目で最も多くなっている。

また、「事業者と家族等介護者」による介護の割合は、「排泄介助」が20.6%と高くなっている。(図48)

図48 介護内容別にみた介護者の組合せの状況の構成割合

平成25年



注：「その他」とは、「主な家族等介護者」とその他の家族等介護者」「その他の家族等介護者のみ」をいう。